

一般社団法人日本調理科学会 平成 28 年度第 4 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 1 月 28 日（土）14:00～17:00

場 所：お茶の水女子大学 本館 104 室（東京都文京区大塚 2-1-1）

出席者：香西みどり会長、石井克枝筆頭副会長、今井悦子副会長、青柳恵子、綾部園子、新井映子、和泉秀彦、魚住恵、笠倉知子、坂本裕子、西堀すき江、丹羽哲也、沼田貴美子、松本美鈴、三成由美、峯木真知子、吉濱義雄、藤井恵子（以上理事 18 名）、大谷貴美子、森高初恵（以上監事 2 名）

欠席者：真部真里子副会長、會田久仁子、大喜多祥子、岡本洋子、岸田恵津、次田一代、福田ひとみ（以上理事 7 名）

本日の理事会は定款第 33 条の規程（理事 25 名中 18 名）を満たし成立。

配布資料

- 資料 1 一般社団法人日本調理科学会 平成 28 年度第 3 回理事会議事録（案）
- 資料 2 （一社）日本調理科学会第 4 回理事会報告資料（編集委員会）
- 資料 3 （一社）日本調理科学会第 4 回理事会報告資料（情報管理委員会）
- 資料 4 （一社）日本調理科学会第 4 回理事会報告資料（災害時メニュー開発に関する研究委員会）
- 資料 5 生活科学系コンソーシアム関連の活動
- 資料 6 （一社）日本調理科学会経理規程及び別表
- 資料 7 平成 29 年度事業計画（案）
- 資料 8 収支予算書（案）
- 資料 9 平成 29 年度スケジュール
- 資料 10 （一社）日本調理科学会創立 50 周年記念増刊号
- 資料 11 創立 50 周年記念行事について（案）（記念行事委員会）
- 資料 12 寄付
- 資料 13 一般社団法人日本調理科学会平成 29 年度大会のご案内と研究発表募集
- 資料 14 一般社団法人日本調理科学会平成 28 年度大会 収支決算報告
- 追加資料 （一社）日本調理科学会第 4 回理事会報告（次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会）
山崎製パン総合クリエイションセンター 利用料金

1. 議長、議事録作成人、署名人選出

前例により議長は香西会長、議事録作成人は藤井庶務担当理事、議事録署名人は香西会長、石井筆頭副会長、大谷監事、森高監事とする。

2. 前回議事録確認（資料 1）

平成 28 年度第 3 回理事会議事録（案）（資料 1）を確認し、承認された。

3. 議事

【報告事項】

(1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告の件

香西会長並びに石井筆頭副会長、今井副会長から職務執行状況について努力してきた報告があった。

(2) 常置委員会からの報告の件

1) 編集委員会（資料 2）

真部委員長欠席により、松本理事より、資料 2 に基づいて報告があった。

・投稿数が激減している。レベルは下げずに、できるだけのせる方向で努力している。是非投稿の

呼びかけをお願いしたい。

2) 情報管理委員会（資料 3）

石井筆頭副会長より、資料 3 に基づいて報告があった。

- ・平成 29 年度大会演題登録は新システム(Confit)となる。
- ・来年度より、電子ジャーナル(J-STAGE)の公開は、編集委員会へ移行する。

(3) 特別委員会からの報告の件

1) 刊行委員会

香西会長より、40 周年記念刊行クッカーサイエンスシリーズ 7 巻「油のマジック」(島田淳子先生著)に続き、8 巻は畑江敬子先生による泡に関する本を発行予定であることが報告された。平成 29 年度大会までに発行する予定である。

2) 規程委員会

今井副会長より、規程集の一部改正があることが報告された。

(4) 研究委員会からの報告の件

1) 災害時メニュー開発に関する研究委員会（資料 4）

石井筆頭副会長より、資料 4 に基づき報告があった。

- ・平成 28 年度大会において NPO キャンパーのデモ調理を行った。大学においても学生が活動に参加する際のルールや支援等を事前に考えておかなければならないことが課題として挙げられた。

2) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会（追加資料）

石井筆頭副会長より、追加資料に基づき報告があった。

- ・平成 28 年度大会に、「主食」をテーマとしてポスター発表を行った。46 都道府県が参加した。
- ・平成 29 年度大会では「おやつ」をテーマとしてポスター発表を行う予定である。

(5) 生活科学系コンソーシアム活動の件（資料 5）

笠倉理事より、資料 5 に基づいて報告があった。

- ・平成 29 年 2 月 21 日に日本学術会議健康・生活科学委員会家政学分科会主催の公開シンポジウムが開催される。また平成 29 年 3 月 11 日に公開シンポジウム（市民公開講座）が開催される。
- ・生活科学系コンソーシアムより、科研費の改革案に対するパブリックコメントの要請があり、1800 位のパブリックコメントが寄せられ、「家政学」という用語が盛り込まれることとなった。決定する立場の方に関係者がいないことが問題である。論文を多数出してほしい。
- ・平成 29 年 3 月 21 日に第 8 回博士課程発表会がある。

【審議事項】

(1) 規程集、勘定科目改正の件（資料 6）

今井副会長より、資料 6 に基づいて勘定科目の情報管理費について改正の説明があり、承認された。

(2) 平成 29 年度事業計画（案）・予算（案）の件（資料 7, 8, 9）

1) 平成 29 年度事業計画（案）（資料 7）

今井副会長より、平成 29 年度事業計画（案）について資料 7 の通り説明があり、3. (2) を「学会誌を電子ジャーナル（J-STAGE）で公開する」と訂正した上で承認された。主な活動は以下である。

- ・代議員総会を 6 月 4 日(日)に開催する。
- ・創立 50 周年記念事業、創立 50 周年記念大会を 8 月 31 日（木）、9 月 1 日（金）お茶の水女子大学にて開催する。
- ・選挙管理委員会を立ち上げ、平成 30-31 年度の代議員および役員候補者選出を行う。
- ・研究委員会関連の事業において、「災害時メニュー開発に関する研究委員会」「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理研究委員会」の活動を行う。

・支部活動に関する事業において、各 6 支部は支部総会、役員会、講演会、研究会等の事業を行い、代議員および理事候補者を正会員による選挙により選出する。

2) 収支予算書（案）（資料 8）

今井副会長より、平成 29 年度の予算について資料 8 の通り説明があり、一部誤りがあるがそれは訂正することを条件に、承認された。

・正会員受取会費は、会員数の減少により 40 万円ほど減少する。

・当期経常増減額は本来は±0 であるべきだが、H29 年度は赤字予算となった。大会を黒字として収益を増やしてほしい。広告費も収入に繋がるので、理事の先生方に協力をお願いしたい。

3) 平成 29 年度スケジュール（資料 9）

今井副会長より、来年度スケジュールについて資料 9 の通り説明があり、承認された。

(3) 平成 29 年度代議員総会等の件

香西会長より、以下の説明があり、いずれも承認された。

1) 代議員総会は 6 月 4 日(日)お茶の水女子大学において開催する。午前中は理事会を開催し、その後代議員との懇談会を行い、総会、講演会を行う。

2) 電磁的理事会の開催：4 月に行う事業報告及び決算の監査後、代議員総会に向け電磁的理事会を行う。全員の同意が必要となる。

3) 代議員総会後の講演会の講師について議論した。来年度は創立 50 周年なので、学会の歴史を語る人物の講演、またこれからの調理科学と健康を関連付けた講演はどうかと提案された。

4) 第 1 回理事会では、H29 年度代議員総会に向けての確認を行う。

(4) 創立 50 周年記念事業実行委員会活動の件

1) 記念出版委員会

香西会長より「伝え継ぐ 日本の家庭料理」の出版に関して、以下の説明があり、承認された。

・「うかたま」別冊シリーズとして年 4 回で 4 年間全 16 冊発行することになり、記念出版委員会を立ち上げた。各県 40 点が掲載される。今年の 11 月に 1 冊目が出る予定であり、2021 年 3 月が最終の予定である。既に 6 県、100 品の撮影が終わっている。年 4 回 (1,600 円×4 回=6,400 円/年) ×4 年間の別冊の定期購読を予約して欲しいとの要請があった。

2) 記念増刊号編集委員会（資料 10）

松本理事より、創立 50 周年記念増刊号について、資料 10 に基づき説明があり、承認された。

・増刊号担当のアドレスは jscs50th@gmail.com とする。

・編集は編集委員が行い、学会誌 50 巻 4 号と一緒に発送する予定である。

3) 記念行事委員会（資料 11）

今井副会長より、創立 50 周年記念行事(案)について資料 11 に基づき説明があり、承認された。

・学会パンフレット更新 案の作成は藤井理事が担当し、現段階の案が提案された（別紙）。今後表紙の写真など、各理事に提供してもらい、2 月末をめどに検討していく。

4) 募金委員会（資料 12）

石井筆頭副会長より寄付について、資料 12 に基づき説明があり、承認された。

・既に賛助会員の 48 団体に依頼状を送付済だが、申し出が少ないため、賛助及び 40 周年の際寄付のあった企業に担当者を割り振って働きかけることとした。また心当たりのある企業名もあがった。各役員が関連企業に寄付の協力を呼びかけて欲しい。

・香西会長より、募金は一円 1 万円としているが、複数名でも或いは 1 万円未満の応募でもよいことにしたいと提案があり、承認された。

(5) 平成 29 年度大会の件（資料 13）

綾部理事より資料 13 に基づき説明があり、いくつかの修正の上、さらに細部については実行委員

会で詰めることとして承認された。大会のご案内と研究発表募集要項は学会誌 2 号に掲載する。

・演題登録に関する問い合わせに対しては、綾部理事が返答をする。

(6) 平成 28 年度大会決算及び余剰金の件 (資料 14)

和泉理事より、資料 14 に基づき H28 年度大会の収支決算報告が行われ、承認された。

・700 名を超える参加者となり、盛会であった。

・大会の余剰金 896001 円は支部活動費として計上してあるが、本部に 8 割 (71 万円)、支部に 2 割を入れることとした。

(7) 平成 30 年度大会の件

香西会長より説明があり、H30 年度大会については近畿支部が担当となり、武庫川女子大学 升井先生、坂本理事、大谷理事が中心となり進めていくことが承認された。

(8) 平成 29 年度学会賞選考委員会の件

香西会長より、学会賞選考委員会設置について提案があり、委員は今井副会長 (委員長)、峯木理事、大喜多理事、次田理事、藤井理事とすることが承認された。

(9) 生活やものづくりの学びネットワーク世話人の件

石井筆頭副会長より説明があり、世話人は新井理事が行うことで承認された。

(10) 中国・四国支部からの提案、大会において「若手優秀賞」の設置の件

若手支援のために賞を設置することについて、中国・四国支部より提案され、承認された。『若手発表奨励賞』とし、基本は口頭発表としてポスター発表も行う。要旨集に投票用紙を挟み込んで参加者に投票してもらい、最終的には理事の担当者を 3~4 名が結果が妥当であるかどうかを判断する。

(11) 新会員入会承認の件 (回収資料)

平成 28 年 11 月~平成 29 年 1 月の入会者として、正会員 8 名、学生会員 1 名が承認された。

【その他】

(1) 平成 29 年度功労賞受賞候補者の推薦依頼について

今井副会長より、功労賞受賞候補者の推薦依頼があった。支部長が 3 月末までに推薦する。

(2) 各支部の平成 28 年度活動報告・支部交付金の使途報告について

今井副会長より、各支部の平成 28 年度活動報告・支部交付金の使途報告書を 2 月末日までに事務局へ送るよう依頼があった。

(3) 各支部の平成 29 年度活動計画案・予算案について

今井副会長より、活動計画案は 4 月末日までに事務局へ送るよう依頼があった。

(4) 山崎製パン総合クリエイションセンターについて (追加資料)

香西会長より、山崎製パンが市川市にホールを作ったことが報告された。LLCホールは、学術研究の学会やシンポジウムの開催などに利用できる。畑江先生が社外取締役を務めている。

以上

議事録署名人	会長	香西 みどり	印
	筆頭副会長	石井 克枝	印
	監事	大谷 貴美子	印
	監事	森高 初恵	印